

平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 2 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日まで)

① 会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・ 第 113 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。
日時 平成 25 年 4 月 11 日～13 日
場所 福岡国際会議場/福岡サンパレス/マリンメッセ福岡（福岡市）
参加者数 13,300 名 演題数 2,954 題
テーマ 「創始と継志」

② 機関誌，論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・ 学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 25 年 2 月 15 日	114	臨時増刊 1	39,700
平成 25 年 3 月 1 日	114	2	38,000
平成 25 年 3 月 5 日	114	臨時増刊 2	39,000
平成 25 年 5 月 1 日	114	3	38,400
平成 25 年 7 月 1 日	114	4	38,700
平成 25 年 8 月 15 日	114	臨時増刊 3	37,100
平成 25 年 9 月 1 日	114	5	37,300
平成 25 年 11 月 1 日	114	6	37,900
平成 26 年 1 月 1 日	115	1	38,150

- ・ 学会誌「日本外科学会雑誌」の購読状況を調査するため，会員アンケートを行い，その結果を受けて「日本外科学会雑誌」の在り方を検討した。

- ・ Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 25 年 2 月 1 日	43	2	700 (40,000)
平成 25 年 3 月 1 日	43	3	700 (40,000)
平成 25 年 4 月 1 日	43	4	700 (40,000)
平成 25 年 5 月 1 日	43	5	700 (40,000)
平成 25 年 6 月 1 日	43	6	700 (40,000)
平成 25 年 7 月 1 日	43	7	700 (40,000)
平成 25 年 8 月 1 日	43	8	700 (40,000)
平成 25 年 9 月 1 日	43	9	700 (40,000)
平成 25 年 10 月 1 日	43	10	700 (40,000)
平成 25 年 11 月 1 日	43	11	700 (40,000)
平成 25 年 12 月 1 日	43	12	700 (40,000)
平成 26 年 1 月 1 日	44	1	700 (40,000)

- ・ 英文の Case Report 誌の創刊を検討した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会, American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い, 若手外科医の交換発表などを行った.
- ・日本医学会, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会の活動に積極的に参画した.
- ・外科系15学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討した.

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成して, ビデオライブラリーに収録した.

桑野 博行（群馬大学）

「食道癌に対する小開胸併用胸腔鏡下食道切除術および胃管による再建術」

古森 公浩（名古屋大学）

「腎動脈再建を伴う腹部大動脈瘤手術」

亀岡 信悟（東京女子医科大学）

「開腹による直腸癌手術—メディカルデバイスの応用—」

北野 正剛（大分大学）

「腹腔鏡補助下幽門側胃切除術」

田尻 孝（日本医科大学）

「先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下分流手術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り, 外科専門医を認定し, 指導医を選定し, 認定登録医を登録し, 指定施設と関連施設を指定した.
- ・専門医に関する第三者機関の設立に向けて, 日本専門医制評価・認定機構に参加したり, 他の学会と積極的に意見交換を行ったりすると共に, 新しい専門医制度構築に向けた取組みについてメッセージを発信した.
- ・「外科専門医研修プログラム」を検討した.

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科研究の利益相反に関する指針」に則り, 該当者から利益相反自己申告書を回収した.
- ・第10回臨床研究セミナーを下記のとおり行った.

日時 平成25年4月13日

場所 福岡国際会議場（福岡市）参加者数 621名

- ・第11回臨床研究セミナーを下記のとおり行い, ホームページでの動画配信を検討した.

日時 平成25年11月23日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市）参加者数 117名

- ・第20回研究奨励賞を表彰した（5名）.

中川 基人（平塚市民病院外科）

A randomized prospective trial comparing clinical outcomes 3 years after Surgery by Marcy repair and Prolene Hernia System® repair for adult indirect inguinal hernia 43 : 1109-1115

廣澤知一郎（東京女子医科大学第二外科）

Prognostic factors in patients undergoing complete resection of pulmonary metastases of colorectal cancer: a multi-institutional cumulative follow-up study 43 : 494-499

伊藤 博道（筑波大学医学医療系 循環器呼吸器外科）

Significant correlation between endothelial nitric oxide synthase (eNOS) expression and alveolar repair in elastase-induced rat pulmonary emphysema 43 : 293-299

伊藤 寿朗（札幌医科大学心臓血管外科）

Infradiaphragmatic malperfusion of acute aortic dissection associated with previous abdominal aortic aneurysm repair 43 : 1019-1024

岡野 圭一（香川大学医学部消化器外科学）

Pancreatic thickness as a predictive factor for postoperative pancreatic fistula after distal pancreatectomy using an endopath stapler 43 : 141-147

- ・第 113 回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な 9 演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給した。

錦織 英知（国立がん研究センター東病院大腸骨盤外科）

「Surgical technique and short term outcome for laparoscopic rectal cancer surgery」

増田 良太（東海大学）

「安全な低侵襲手術への工夫」

鎌田 創吉（大阪大学心臓血管外科）

「冠動脈バイパス術後の大動脈弁狭窄症癌一術前リスク評価に基づいた治療戦略」

小嶋 一幸（東京医科歯科大学低侵襲医学研究センター）

「腹腔鏡下幽門側胃切除術 R-Y 再建手技の工夫と成績」

鈴木 友己（北海道大学消化器外科学分野 I）

「Technical Aspects of Liver Transplantation for Polycystic Liver Disease」

福間 英祐（亀田総合病院乳腺センター）

「整容性と癌根治性における乳癌内視鏡下手術の意義」

立原 啓正（東京慈恵会医科大学外科）

「大動脈瘤手術におけるステントグラフト内挿術後遠隔成績向上のための工夫: anatomical deployment, snorkel technique, liberal external iliac landing」

中村 雅史（川崎医科大学消化器外科）

「外側アプローチと横行結腸間膜左側切除による高難度腹腔鏡下膈体尾部切除術」

竹内 裕也（慶應義塾大学外科）

「腹腔鏡下食道切除における体位と手技の工夫による縦隔リンパ節郭清と腹腔内食道胃管吻合術」

- ・会員のための臨床研究を支援する制度「若手外科医のための臨床研究助成」を創設し、研究費を支給した。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」の補助金支給対象者を選考した（対象 1 名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」の補助金を支給した（5 名）。

萱島 寛人（九州大学消化器・総合外科）

「安全で低侵襲な EOB-MRI を用いた生体肝移植術後の肝鬱血領域の機能評価に関する研究」

竹山 廣志（大阪大学消化器外科）

「近赤外線腹腔鏡装置と近赤外蛍光色素を用いた新規可視化内視鏡用クリップの開発」

本田 正樹（熊本大学小児外科・移植外科）

「2光子励起顕微鏡を用いた小腸虚血再灌流障害時における好中球動態の解析」

三吉 範克（大阪府立成人病センター外科）

「血中遊離 DNA とエクソソームを用いた大腸癌の臨床的悪性度と治療効果予測」

吉田 幸弘（東京大学呼吸器外科）

「病理学的悪性度の予測を目的とした小型肺腺癌の画像診断～医工連携による革新的な画像診断技術の開発～」

- ・肥満症例についての National Clinical Database (NCD) を活用した研究費の補助金を支給した。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第83回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成25年4月13日

場所 福岡サンパレス大ホール（福岡市） 参加者数 1,346名

テーマ 「災害医療—外科医にとって必要な災害医療の知識—」

- ・第84回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。

日時 平成25年11月23日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加者数 320名

テーマ 「ロボット支援手術からみた手術技術の向上」

- ・第21回生涯教育セミナーを下記のとおり行った。

テーマ 「外科的な救急疾患」

（北海道地区）

日時 平成26年1月18日

場所 北海道大学大学院医学研究科・医学部学友会館（札幌市） 参加者数 124名

（東北地区）

日時 平成25年9月14日

場所 青森県観光物産館アスパム（青森市） 参加者数 125名

（関東地区）

日時 平成25年10月5日

場所 新宿明治安田生命ホール（東京都） 参加者数 213名

（中部地区）

日時 平成25年4月7日

場所 愛知県医師会館（名古屋市） 参加者数 223名

（近畿地区）

日時 平成25年6月22日

場所 京都テルサ（京都市） 参加者数 265名

（中国四国地区）

日時 平成25年9月13日

場所 ホテルクレメント徳島（徳島市） 参加者数 72名

(九州地区)

日時 平成 25 年 5 月 11 日

場所 沖縄コンベンションセンター（宜野湾市） 参加者数 53 名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「一病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行った。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・ National Clinical Database（NCD）に参加し，外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図った。
- ・外科学用語集の改訂のための意見募集を行った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・広報活動として，第 39 回市民講座を下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。

日時 平成 25 年 4 月 14 日

場所 アクロス福岡（福岡市）

テーマ 「進化する外科治療」

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し，外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と，その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・日本医療安全調査機構に参加し，死因の調査分析事業に協力した。
- ・「医療事故に係る調査の仕組み等に関する第三者機関」に関する要望書を提出した。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し，特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図った。
- ・外科医の労働環境についての調査結果を元にした要望書を提出した。
- ・初期臨床研修における外科研修の必修科についての要望書を提出した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 7 号）

- ・代議員の選挙制度見直しについて検討した。